

# Forest 通信

vol.137

森林インストラクター東京会 会報

2023年2月18日発行

## < 2023年度(令和5年度)FIT総会のご案内 >

森林インストラクター東京会(FIT)の2023年度(令和5年度)総会を下記の要領で開催いたします。

### FIT総会

日時:3月11日(土)13:00~18:00(受付12:30より)

第1部 13:00-14:00講演会 講師:石井誠治さん(FIT)

テーマ「4000年の眠りから覚めたドングリの不思議」

(参加費は無料。参加者は総会本会への出席が前提。オンライン配信はなし。)

第2部 14:15-15:45 総会(本会)

第3部 16:00-17:45 懇親会(参加は任意。会費2,000円。)

会場:後楽園「林友ビル」6F 日本森林林業振興公団会議室

文京区後楽1-7-12

地下鉄「後楽園」駅徒歩6分、JR「飯田橋」駅徒歩7分

総会議題:本会報の総会議事次第を参照してください。

出欠:ML会員は、MLにて別途連絡の総会開催案内のフォームメールにて出欠を回答してください。

非ML会員は別途送付の総会開催案内に同封の葉書にて出欠を回答してください。

出欠の回答締め切りは、3月6日(月)。尚、友の会会員は、参加できません。

お願い:総会成立要件である定数(委任を含めて会員総数の1/2以上)を確保する必要がありますので、欠席の場合は支障のない限り、委任状をもって総会の決議事項を了承することにご同意ください。

尚、各議案へのご意見を記載できる欄を設定いたします。

### 総会議事次第

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 開会宣言と定足数報告            | 第5号議案:2023年度予算              |
| 2. 会長挨拶                  | 第6号議案:会則の変更(FIT所在地の記載)      |
| 3. 議長選出                  | 5. 報告事項                     |
| 4. 決議事項                  | 各部会 2022年度活動報告および2023年度活動計画 |
| 第1号議案:2022年度活動総括報告       | 6. 議長解任と閉会宣言                |
| 第2号議案:2022年度決算(含む会計監査報告) |                             |
| 第3号議案:2023年度運営体制(運営委員)   |                             |
| 第4号議案:2023年度全体活動方針       |                             |

---

本号は、総会当日の議事資料となります。フォレスト通信の印刷物は配布しませんので、各自(印刷等で)閲覧できる準備をして参加してください。FIT名札もお忘れなきようお願いいたします。

2月森の日以後、仮決算および予算は、旧HP「会員限定ページ」に掲載します。総会への出欠および欠席の場合の委任状発信の判断にご活用ください。決算は、会計監査終了後に最終決算に入れ替えます。

総会は、FITの最高決定機関であり、運営全体にわたって1年間の活動を総括し、次の1年に向けての活動の方向付けをするスタートの機会となります。日頃FIT森の日に参加できない方も是非ご出席いただき、ご意見を賜りたく存じます。

## ＜総会決議事項＞

### 第1号議案：2022年度活動総括報告

2022年度は、共に新任の宮入会長、入江副会長体制下での活動となりました。

新型コロナに関しては、2021年9月末に緊急事態宣言が解除されて以来、FITとしての「緊急事態宣言下での活動の自粛」は解除された状態となっており、2020年度、2021年度のような活動自粛の影響は受けていません。但し、未だ終息とはなっておらず新規感染者数も2022年8月をピークとした第7波に次ぐ状況で推移しています。このような状況下、感染環境は依然として厳しく、感染防止に配慮した活動が続いています。

会の年間行事としては、

2022年3月12日に2022年度FIT総会を開催。前後の講演会、懇親会は中止。

2022年8月11日の暑気払いは、新型コロナ感染防止の観点より中止。

2023年1月14日に新年会を開催。入会説明会、観察会、懇親会を3年ぶりに実施。幹事の元樹会(入会3年目)の皆様お疲れ様でした。

運営委員会(森の日)は、2022年4月、6月、10月、12月、2023年1月(臨時)、2月と6回実施。事前に関連資料を配布して、運営委員会の協議内容の充実を図りました。

イベント関連でのCONE保険の利用実績では、2019年度は、会員1,291名、一般3,023人、計4,314人。2020年度は会員488人、一般1,226人、計1,714人、2021年度は、会員723人、一般469人、計2,192人。2022年度(2022年3月から2023年1月末迄11か月)は、会員1,260人、一般2,481人、計3,741人でした。2021年度よりは7割ほど利用数が増え、コロナ前の2019年とほぼ同等レベルとなっています。

登録グループは、今年1グループ増えて現在29。登録グループも活発に活動を実施しており、CONE保険の利用実績のうち、イベント数で2022年度は約5割を占めています。

2022年度の活動方針として、①知名度アップ活動促進、②活動支援助成金制度の活用、③活動参加者のすそ野拡大の推進を挙げました。

①については、FIT知名度アップの一環として2016年度から実施している「山の日」制定記念まると！高尾山グリーンクリーン作戦は、3年ぶりに実施されました。但し、「山の日」そのものが制定後7年を経過し国民に定着してきている等の理由から、開始当時の中心メンバーをお呼びした「森の日」で協議の上、林野庁森林推進センターの了解を得て、来期よりは「森林ふれあい推進事業」の扱いは止めることになりました。

②については、事業部会が中心に実施されている5月「みどりとふれあうフェスティバル」、8月「山の日制定記念まると！高尾山グリーンクリーン作戦」、10月「すみだまつり・こどもまつり」に加えて、登録グループで実施の7月「杉並会・クラフト教室」、11月「ふたば会・たんけん&たんけん大沢池」、および「ふたば会・ハイキング&リース作り」、12月「杉

---

並会・自然の恵みを生かしたクラフト作り」にも活動支援助成金の支給を実施しました。  
今後も予算の許す限り、より広範な活動を支援していく予定です。

③については、懸案のスキルアップデータを整理して活用し易くしました。

2023年1月末時点での会員数は、343名。昨年度末に比べて4名減。

尚、2022年度の東京在住の森林インストラクター合格者は、15名。内友の会関連が5名。FITへの入会者は、1月末現在10名です。

#### **第2号議案：2022年度決算報告・監査報告**

別紙（2月森の日以後、仮の決算を別途旧HP会員限定ページに掲載します。

監査が終了後、最終決算に入れ替えます。）

#### **第3号議案：2023年度運営体制**

会長	宮入 芳雄	(05年)	留任
副会長	入江 克昌	(27年)	留任
事務局長	藤岡 眞	(28年)	留任
会計	横井 行男	(29年)	留任
監査	熊木 秀幸	(28年)	留任
広報部会長	鍛冶 健二郎	(28年)	留任
安全部会長	入江 克昌	(27年)	留任
事業部会長	長谷 川守	(24年)	留任
研修部会長	小勝 眞佐枝	(25年)	留任
友の会運営部会長	芝原 久	(30年)	留任

#### **第4号議案：2023年度全体活動方針**

新型コロナの影響は、既に3年以上に及んでいますが、まだその終息が見えない状況です。2021年9月末以来緊急事態宣言は発令されておらず、FITとしての活動自粛はしていませんが、これまで以上にお客様およびFIT会員の安全を第一とした活動が求められています。

従来から掲げている以下の三つの重点施策を引き続き推し進めていきます。

① 知名度アップ活動促進、② 活動支援助成金制度の活用、③ 活動参加者のすそ野拡大策の推進です。

①については、これまで積み上げてきたイベントをコロナ禍で途絶えさせることなく、継続実施していきます。広報部会と連携してHPを継続的に充実させて、一般閲覧者への情報提供を図ります。会員紹介欄を更に充実し、より多くの会員の情報提供に努めます。FITの紹介資料(A4リーフレット)、PRカードなどの最新化を図ります。

②については、予算の許す範囲で、対外的かつ社会的貢献度の高い活動に支援助成金を支給し、FIT会員がより多く参加できる機会の掘り起こしを図っていきます。登録グループなどへの活動支援の充実を図ります。

③については、事業部会と連携して、ふれあい推進事業で実施中の体験参加の促進、イベントを主幹事として実施する人材の育成を図り、新規案件を受け入れる人材確保に努めます。又、国土緑化推進機構より「森林ESDサポーター（仮称）育成の一環として小金井市小学校の取り組みへの人材派遣の要請があり、森林インストラクターになっても現場参加の機会のない会員にとって良い

---

チャンスであると捉えて、FIT内での人材募集を実施の予定。「運営委員会(森の日)」により多くの会員の意見が反映されるような工夫を検討します。

**第5号議案:2023年度予算案**

別紙(2月森の日以後、別途旧HP会員限定ページに掲載します。)

**第6号議案:会則の修正(FIT所在地の記載内容)**

金融機関(ゆうちょ銀行)よりの要請により、会則の付則を一部修正する。

(現) 本会の運営を行うために、事務局を東京都内に置く。

(修正案) 本会の運営を行うために所在地を会長宅とする。又、事務を処理するため事務局を置く。

**各部会報告と年次計画**

事業部会	事業部会長 長谷川 守
------	-------------

2023年2月10日作成

**1.2022年度活動報告(2023年2月10日 現在)**

2022年度は新型コロナウイルス感染症に対する社会情勢や認識に変化があり、対策を講じながらではありましたがイベント等に向き合う事ができました。毎月1回の定例会議(林の日)では活発な意見交換を行いながら当初計画の案件をほとんど実施する事ができました。実施イベントは下表の通りです。このように、「FIT会員の活躍する場」(例えば森の案内)は、社会から必要とされており、その期待・要望に応じていく努力が必要な事を実感した1年でもありました。

イベント名称	実施件(回)数	一般参加者数	スタッフ数	コメント
高尾森林 ふれあい推進事業	21回	591名	185名	協定イベント 親子観察会 3回を含む 中止 1件 体験参加者 7名
田園調布学園 土曜プログラム	8回	133名	24名	土曜プログラム(午前約3時間)
ネイチャークラフト体験				
・みどりとふれあう フェスティバル	530件	子供のクラフト体験の数	33名	5/15(日)木場公園 訪問者 約1,500名(両親等)
・すみだこどもまつり	1448件	子供のクラフト体験の数	47名	10/1(土)、10/2(日) 錦糸公園・総合体育館 訪問者 約3,000名(両親等)
高尾山GC作戦	10回	290名	81名	FIT会員 84名 参加 中止 1回
低山はいかい	10回	—	192名	FIT会員の親睦山歩き
外部案件	8件	529名	59名	小学校 4校 高校 1校 大人対象 3件 生徒の自然体験を応援

\* 参加人数(延べ人数)は集計上若干の差異があります。

## 2. 2023年度 活動方針・計画

令和5年度は新型コロナウイルス感染症も終息方向に向かっている中でのスタートになりますが、FITの担当部門の一つである事業部会は、例年多くの案件の実施・運営を担っています。多くの会員の参加、協力、支援によって行われていますので、粛々と確実に、安全に実施・運営をしていきます。毎月1回の定例会議(林の日)では、FIT及び事業部会の情報や連絡事項の確認、各イベントの担当者より現状の報告や相談など、経験・入会年・年齢などを超えて自由闊達な意見交換を行っていきます。その為にも、女性スタッフを積極的に受入れたいと思っております。

令和5年度も「森林ふれあい推進事業」、「田園調布学園土曜講座」、「ネイチャークラフト等の体験」、「高尾山GC作戦」、「低山はいかい」、「外部案件」などが予定されています。特にネイチャークラフト体験はFIT会員と参加者(子どもと両親)とのスキンシップもあり、大切な活動にしたいと思っております。これらのイベントでは参加された方々に“参加してよかった、楽しかった。次回も参加したい。”という満足感を味わって頂けるようにします。また、将来に向けて人材の育成にも心がけていきます。イベントスタッフには積極的に入会年の新しい会員及び経験の浅い会員に声をかけ、特に森林ふれあい推進事業イベントでは“体験参加”を呼びかけていきます。

事業部会のスタッフは、それぞれに担当を分担しながら、会員への参加の呼びかけや会員のコミュニケーションを図りながら運営を行なっていきます。また、事業部会は従来から“開かれた運営”を心がけています。どなたにも門戸を開放していますので、皆様の参加をお待ちしております(毎月第2木曜日 17時45分～)。

以上

安全部会

安全部会長

入江克昌

### 【2022年度報告】

2022年度も引き続き感染拡大防止に配慮しながら、各種イベント・活動を実施してきた結果、CONE保険利用者の実績(2023年1月までの11か月)は3,741人となっており、2021年度から7割程度増加して、コロナ前の2019年度とほぼ同程度のレベルまで回復しつつあります。

各グループでは感染防止策を講じながら、安全に十分配慮してイベントを実施して頂いており、2019年度から4年連続で“事故ゼロ件”となりました。

(2023年1月末現在)安全部会の活動として、以下の安全研修を行いました。

\* 4月7日(木)木の日研修で、ZOOMによる『安全研修・座学編』を開催しました。第一部では日本山岳会医療委員会委員長の野口いづみさんに「山で起こるケガ、虫刺されと病気の対処」と題する講演をして頂きました。

第二部では安全部会から「FIT安全対策の手引き」の使い方、CONE保険等について説明しました。

\* 『安全研修・野外編』を、初夏の親子観察会と秋の親子観察会の下見の中で、実際のコースを歩いて本番で想定されるコースの状況、注意点を参加者全員で確認しながら行いました。

### 【2023年度活動予定】

FITとしてのイベント・各種活動の参加者数はコロナ前のレベルに戻りつつありますが、新型コロナウイルスの終息が見えない状況下では、これまで以上にお客様及び

---

会員の安全を第一とした活動が求められています。従来通り、「安心して参加、安全に実施」を目標に、会員の安全意識の更なる向上を図っていきたいと思います。

安全部会の活動として、以下の安全研修を予定しています。

\* 4月6日(木)木の日研修で、ZOOMによる『安全研修・座学編』を開催します。

第一部ではFIT森林塾塾長の牧田一雄さんによる講演を行います。

第二部では安全部会から「FIT安全対策の手引き」の使い方、CONE保険等について説明します。

\*『安全研修・野外編』は、今年も初夏の親子観察会の下見時に、実際のコースを歩いて、実践形式で行います。日程、詳細は、後日FIT-MLでご連絡します。

以上

研修部会

研修部会長

小勝真佐枝

### 【2022年度研修部報告】

2022年度の研修は、野外研修、木の日研修、草木染指導者研修、実践・森づくり技術講座等を実施しました。

2022年度は、コロナ禍の影響で中止や延期を余儀なくされた野外研修はなく、予定した研修はすべて実施できました。参加者数を絞って実施し、学名、樹木、冬芽、野鳥、植物標本などの基礎的な研修および、地形、海の生物、シダ、クモ、クラフトなどの研修を実施しました。

木の日研修(座学)は密を避けるため、すべてリモートで9回実施しました。10月に、研修に関するアンケートを実施いたしました。リモート研修の継続を望む意見が圧倒的でした。また、研修内容を録画で見ることができ、仕事のある方、夜に外出するのが困難な方からは大変好評です。2022年度の木の日日リモート研修参加者は延べ473名、録画へのアクセスは670件でした。

年間を通じて、草木染指導者研修は全9回、実践・森づくり技術講座は全6回の研修をすべて実施することができました。

詳しい活動報告は、FIT研修部会ホームページ<https://fit-eknshubukai.jimdofree.com/>をご覧ください。

### 【2023年度活動計画】

2023年度も新人の方向けの入門研修から専門的な内容の研修まで、色々と計画しております(別表参照)。

決まっていない計画もたくさんありますが、順次決定していきます。決まり次第、ホームページの研修計画の表に入力しますので、時々チェックしていただければと思います。昨年10月にアンケートでご希望いただいた研修も、いろいろと準備しております。

引き続き2023年度の木の日研修は、リモートで実施する予定です。(3月11日の総会時の研修は、対面で行います。)

草木染、森づくりはもちろん、かなりの野外、木の日研修でFITの会員の方々が講師を務めてくださっています。それだけの専門知識や技術のある方がFITにはたくさんいらっしゃいます。

ともに学び、ともに体験することで、お互いを高め合い、森林インストラクターとして成長していきましょう!

【別表】2023年度研修計画(前期案)

月	野外研修	木の日研修
3	5日(土)「野鳥研修」 場所:昭和記念公園 講師:香川淳(FIT)他 定員:16名	11日(土)総会時 13:00~14:00 「4000年の眠りから覚めたドングリの不思議」 講師:石井誠治(FIT) 場所:林友ビル6F
4	8日(土)スマレ研修 講師:中西由美子、仲田晶子(FIT) 場所: 定員: 11日(火)「学名から迫る植物の素顔」 場所:小石川植物園 講師:横山茂(FIT)他 定員:30名 29日(土祝)樹木観察入門(日比谷公園) 講師:大石征夫(FIT)他 定員:30名	6日(木)安全研修『「安全対策の手引き」の使い方・他』 講師:入江克昌(FIT)他 場所:リモート 定員:99名
5	17日(水)夏鳥観察入門(第1回) 場所:日影沢 講師:吉原邦男(FIT) 定員:15名 27日(土)夏鳥観察入門(第2回) 場所:日影沢 講師:吉原邦男(FIT) 定員:15名 (日程未定)草本観察入門	休会
6		1日(木)「未定」 講師:
7	(日程未定)高山植物入門	休会
8	講師:新井浩司 場所:あきる野市横沢入 定員:15名	3日(木)予定FITフィールド紹介

敬称略

「草木染指導者研修」 3/17(金)草木染入門講座実施 年間8回講座(原則第二金曜)

「実践・森づくり技術講座」 3/4(土)森づくり体験会 年間5回講座(第三土曜)

## 1. 2022 年度の活動報告（芝原）

新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら資格取得支援講座の日程を予定通り実施できました。

オリエンテーション、4科目の講義と演習、模擬試験を含め9回、一次・二次試験後は資格取得後の活動に役立つ様に、3分野（森林作業、自然観察、野外活動）の基礎研修を実施しました。

森林作業では、間伐・枝払い・玉切り作業を、自然観察では実技試験を想定した一人5分の植物解説を、野外活動では火燵し作業と飯盒炊爨を体験し、それぞれの作業で指導する基礎を習得しました。

資格取得支援講座の講師と運営スタッフの皆様のご協力のお陰で、2022年度は会員3名と会員外で講座を受講した2名の方が資格を取得しました。

今年度も無事に運営できましたのもFITの皆様の支援のお陰です。

感謝申し上げます。有難うございました。



野外活動基礎研修



安全及び教育



林業実習



自然観察基礎研修



模擬試験

## 2. 2023 年度の活動計画（芝原）

森林インストラクターやFITの活動に関心がある方と、森林インストラクターの資格取得を目指す方を対象に友の会活動を実施します。

FIT活動に参加したい方は、FITメーリングリストに登録し、会員限定の研修会等の募集情報を提供し各自で参加頂きます。

資格取得を目指す方は、資格取得支援講座に参加して頂きます。

資格取得支援講座は、3月から8月まで森林インストラクター養成講習テキストに準拠し4科目の概要解説、過去問題を利用した演習、テキスト内容を実物で確認する実習を行う予定です。

8月に模擬試験を行い、一人でも多くの会員が資格取得できるように取り組みます。

年度後半は森林インストラクター資格取得後の活動に役立つ様に、森林作業、自然観察、野外活動の分野で基礎研修を実施する予定です。

加えて、FITの3林地（お日の森、鳩ノ巣、パウロの森）へ赴き、森林・林業をより深く理解・体感いただきます。

さらに、NPO法人千葉県森林インストラクター会（FIC）のご協力のもと、本講座を受講



---

できない方を考慮し、資格試験受験支援セミナー(一部オンライン)を有料で受講できる様になりました。

新年度もFIT会員の皆様へ参加を集い、皆様の「FIT友の会」活動・講座内容を理解いただく機会を設けます。

最後に、FIT会員の皆様へのお願いです。2023年度「FIT友の会」会員の募集を開始いたしました。 ※「FIT友の会」ホームページをご覧ください。

皆様の「FIT友の会」を知人や友人に、森林・自然に興味がある方に、FITの活動に関心がある方に、森林インストラクターの資格取得を目指す方へ、是非「FIT友の会」をご紹介ください。

今後とも、皆様の「FIT友の会」をどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

広報部会

広報部会長

鍛冶健二郎

### 1.2022年度活動報告(2023年2月10日時点)

2021年度から新広報部会による新しいFITホームページの運用を始め、もうすぐ2年が経ちます。

主な狙いは(1)活動費コスト削減(2)閲覧者が読みたくなるような魅力ある内容の2つでした。

(1)活動費コスト削減については、各部会やクラブがそれぞれにホームページを立ち上げて頂き、イベント情報や活動報告を各々のホームページで表示することによりFIT-HPからはそれらのURLにリンクを貼るだけになり、広報部会会員の作業は大幅に削減されました。2022年度もこの方式を継続し、イベント情報や活動報告表示に関しての作業量は低くなっています。

(2)閲覧者が読みたくなるような魅力ある内容については、

①トップページでのスライダー画像(毎月の公募)②高尾山についてのホットな情報③自然や地域に関する情報④フォレスト通信等があり、2022年度もそれらの内容充実を図ってきました。①トップページでのスライダー画像については投稿者も増え、賑わっています。②高尾山についてのホットな情報や③自然や地域に関する情報は、内容は素晴らしく、常連の閲覧者も多いのですが、投稿者が固定化されているのが難点です。④フォレスト通信については2022年度も色々な投稿者を発掘し、作成しましたので、興味深い内容になっています。

### 2.2023年度活動方針・計画

2023年度も基本的な方針は変わりません。

課題は(1)情報発信力が不足している。(2)投稿が少ない。(3)魅力が足りない(4)画面が新旧に分かれている等です。

これらを解決する為に広報部会では毎月会議を開き、案を出し合っています。具体的な方策としては、

①トップページに新しい情報がわかるような仕組みを作る。

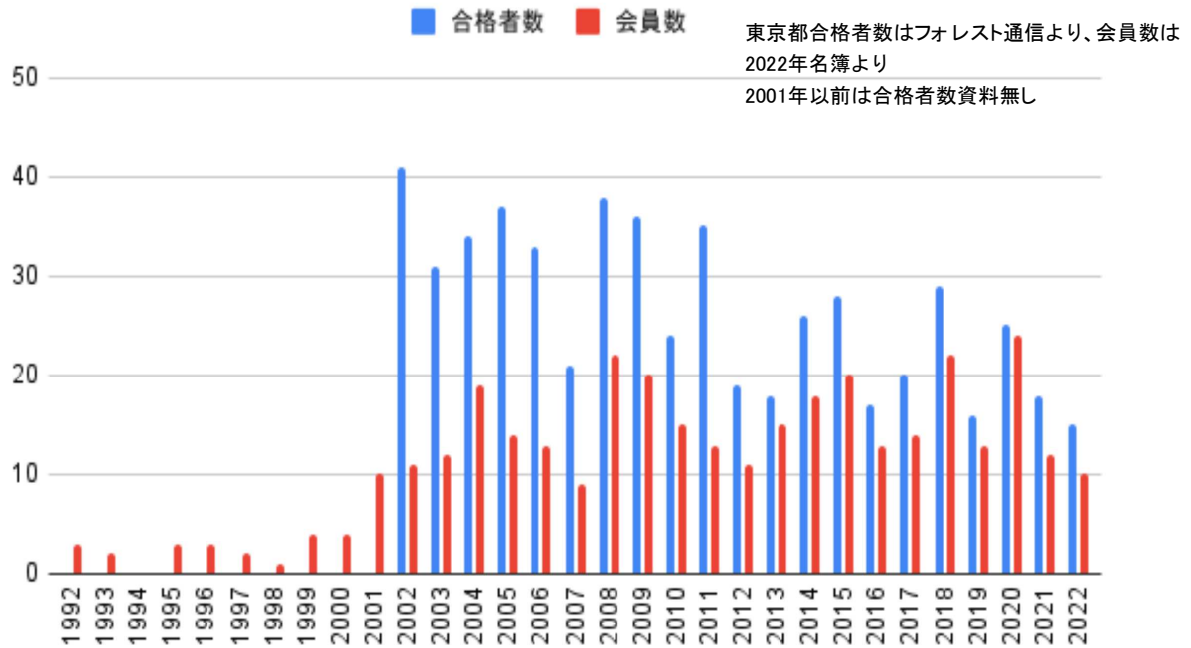
②FITでの知名度の高い方にインタビューする。

③会員からの自由な質問や意見を投稿、閲覧できる画面を作る。

④貴重・有用な投稿情報である各クラブのページへの連携を強化する。

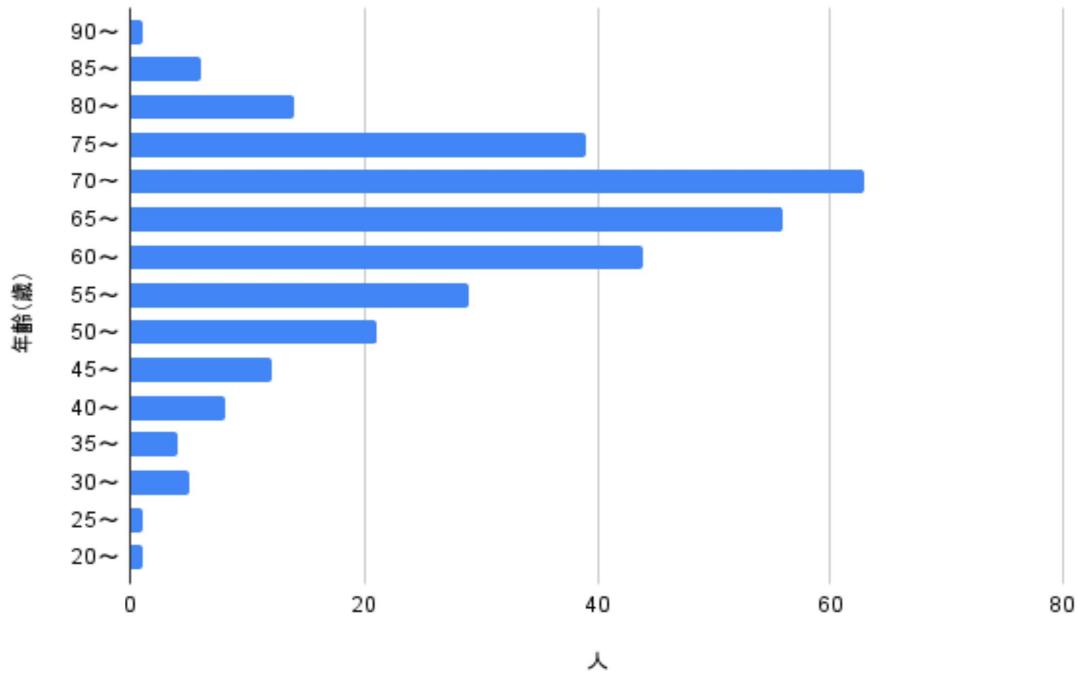
等があり、実現方法を模索しています。また会員へのアンケート結果も踏まえて、2023年度も閲覧者が読みたくなるような魅力あるホームページ目指して邁進する所存ですので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

## 合格者数と会員数



## 会員の年齢構成

2022年4月



2022年304名のデータより 事務局提供

## \* 事務局便り

新型コロナウイルス感染症は、未だ終息していません。引き続き感染防止対策に十分な配慮をお願いいたします。

本号は、3月11日(土)開催の2023年度FIT総会のご案内および議事資料を掲載しています。皆様、必ず目を通してください。

● 会員情報：1月31日現在会員数343名(含む新入会員10名。)

### お知らせ

(1) 2022年度森林インストラクター合格者およびFIT入会者

全国で受験申込者280名(昨年度は284名)、合格者109名(昨年度100名)。東京都在住の合格者は15名。FITへの新入会者は1月末現在10名。

(2) FIT名簿更新

FIT会員名簿の次回更新は3月末となります。最新版が旧HP会員限定ページに掲載されていますので、ご確認いただき、訂正等があれば3月20日ごろまでに事務局あてにご連絡ください。

(3) 来期会費関係

別途、会計よりご連絡の通り、2023年度の会費納入(2023年3月1日～2024年2月末日分)は、2月末日です。自動払込を申し込んでいる方は、2月28日が引落日となります。

2月27日までに、余裕をもって口座に入金をお願いします。

振込をされる方は、2月28日までに、FIT口座に振込をお願いします。

(4) 新年イベント

今年の新年イベントは、1月14日(土)に「新合格者FIT入会説明会」「新年自然観察会」「新年懇親会」が実施されました。

「新合格者FIT入会説明会」場所：日本教育会館 新合格者9名参加。

新合格者同期会の愛称は“森守会(モ

リモリカイ)”となりました。

「新年自然観察会」場所：皇居東御苑 参加者102名(内新合格者9名)。

「新年懇親会」場所：日本教育会館 参加者67名(内新合格者7名)。

幹事の“元樹会”(2019年)の皆様、大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

有明海でノリ養殖の不作のニュースを耳にした。昨冬の降水量不足で山からの栄養が不足、それを栄養にする植物プランクトンが大量発生して、海を貧栄養化したとのことだ。収穫量の減少も著しいが、ノリが黒くならない「色落ち」もひどいようだ。

一方、東京湾でもノリの生産量が以前の1/4に減っているという。ただしこの場合は降水量ではなく、クロダイによる被害だという。以前なら冬の海水温が下がり活動が不活発になるが、ここ数年の海水温の上昇で冬季でもクロダイが活発に餌をあさっている。養殖イカダの周囲を網で囲い防護策を講じているが、少しでもすき間があると侵入して食い荒らしている。前号でイカナゴの記事を書いたが、今回も自然のバランスや環境変化の微妙さに驚かされる。昼食のオニギリからノリが消える日がこないことを願うばかりだ。



### フォレスト通信Vol.137

発行者 森林インストラクター東京会

編集 広報部会

事務局長 藤岡 眞

住所 〒150-0022  
東京都渋谷区恵比寿南3-9-23-501  
090-1665-4589

メールアドレス：sfujioka0206@yahoo.co.jp